

# 吹田操車場跡地まちづくり全体構想

平成19年6月

(2007年)

吹田操車場跡地まちづくり計画委員会

## はじめに

### ～「吹田操車場跡地まちづくり全体構想」の策定にあたって～

吹田操車場跡地におけるまちづくりは、操車場機能が廃止されて以来、四半世紀にわたり重ねてきた粘り強い関係機関との協議、調整を経て、ようやく具体化に向けてのスタートを切ることができました。この地には、これまでの市民の熱い想いがこもっているとともに、今の市民の大きな期待と、未来の市民に受け継ぐ財産としての夢が込められています。

吹田、摂津の両市にとって一大事業であるこのプロジェクトを、歴史に残る素晴らしいものとして結実させるためには、行政のみならず市民、専門家、経済界などの知恵を結集し、50年、100年後の姿にも想いを馳せながら21世紀にふさわしいまちづくりを実現しなければなりません。

「吹田操車場跡地まちづくり計画委員会」は、本プロジェクトの今後の方向性を示すために両市により設置されたもので、様々な角度からの議論を経て、まちづくりの望ましい姿を「吹田操車場跡地まちづくり全体構想」としてまとめました。併せて「吹田操車場跡地まちづくり促進協議会」を設置し、両市の「まちづくり計画」を力強く推進する体制を整備いたしました。

吹田操車場跡地は、その立地と規模、交通利便性、周辺地域に集積する「知」の財産など、極めて高いポテンシャルを持っています。この地で生まれる新しいまちが、時を経て腐葉土豊かな成熟したまちとなるよう、本構想で示した理念を踏まえ、両市は今後「まちづくり計画」を策定し、「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の実現に向けて、取り組んでいくことになります。

本構想を契機に、更に多くの方々に吹田操車場跡地のまちづくりに関心を持っていただければ幸いです。

平成19年（2007年）6月

吹田操車場跡地まちづくり計画委員会

会長 阪口 善雄（吹田市長）

副会長 森山 一正（摂津市長）

副会長 林 紀夫（大阪大学医学部附属病院長）

## 吹田操車場跡地まちづくり計画委員会 名簿

委員	大阪大学医学部附属病院 病院長	林 紀 夫	副会長
	大阪大学大学院 国際公共政策研究科 教授	山内 直人	
	関西大学 環境都市工学部 教授	江川 直樹	
	関西経済連合会 専務理事	向井 利明	
	大阪国際文化協会 会長	高橋 叡子	
	都市生活研究所 代表取締役社長	篠崎 由紀子	会計監査
	国土交通省近畿地方整備局 局長	布村 明彦	
	大阪府副知事	梶本 徳彦	
	吹田市長	阪口 善雄	会長
	摂津市長	森山 一正	副会長
アドバイザー	大阪大学 名誉教授	荻原 俊男	
オブザーバー	都市再生機構西日本支社 支社長	嶋田 征次	
	鉄道建設・運輸施設整備支援機構 国鉄清算事業本部 理事	松岡 和夫	
	日本貨物鉄道 常務取締役関西支社長	宮澤 幸成	

(旧委員)

荻原 俊男（大阪大学医学部附属病院 病院長）平成 19 年（2007 年）3 月 31 日まで

## 吹田操車場跡地まちづくり計画委員会 開催経過

第1回 平成 18 年(2006 年)11 月 20 日(月) 10:30-12:00 ホテル阪急エキスポパーク

内 容：会長の選出／今後の進め方の説明／「吹田操車場跡地のまちづくり概要」の説明  
／意見交換

第2回 平成 19 年(2007 年) 2 月 21 日(水) 14:00-16:00 ホテル阪急エキスポパーク

内 容：「吹田操車場跡地まちづくり全体構想（素案）」について／意見交換

第3回 平成 19 年(2007 年) 5 月 10 日(木) 14:00-16:00 吹田商工会議所会議室

内 容：吹田操車場跡地まちづくり計画委員会設置要項の変更について／「吹田操車場跡地まち  
づくり全体構想（素案）」について／市民意見について／コンペのあり方について

## 目 次

はじめに

I 章 吹田操車場跡地及び周辺の歴史・・・・・・・・ 1

II 章 関連する上位計画・・・・・・・・ 3

1. 都市計画や土地利用に関する計画
2. 自然環境に関する計画

III 章 周辺地域の特性・・・・・・・・ 23

1. 緑や水などの自然資源の分布
2. 鉄道を中心とした交通アクセス
3. 周辺の都市機能集積
4. 大規模都市開発プロジェクト（広域）
5. 都市整備課題と都市開発プロジェクト（周辺）

IV 章 まちづくりの基本方向・・・・・・・・ 34

1. 社会経済動向及び環境問題への対応
2. 計画地の特性を活かしたまちづくり
3. 望まれる都市像
4. まちづくり基本方針

V 章 まとめ・・・・・・・・ 42

（資料編）吹田操車場跡地まちづくり促進協議会での検討内容・・・・・・・・ 47